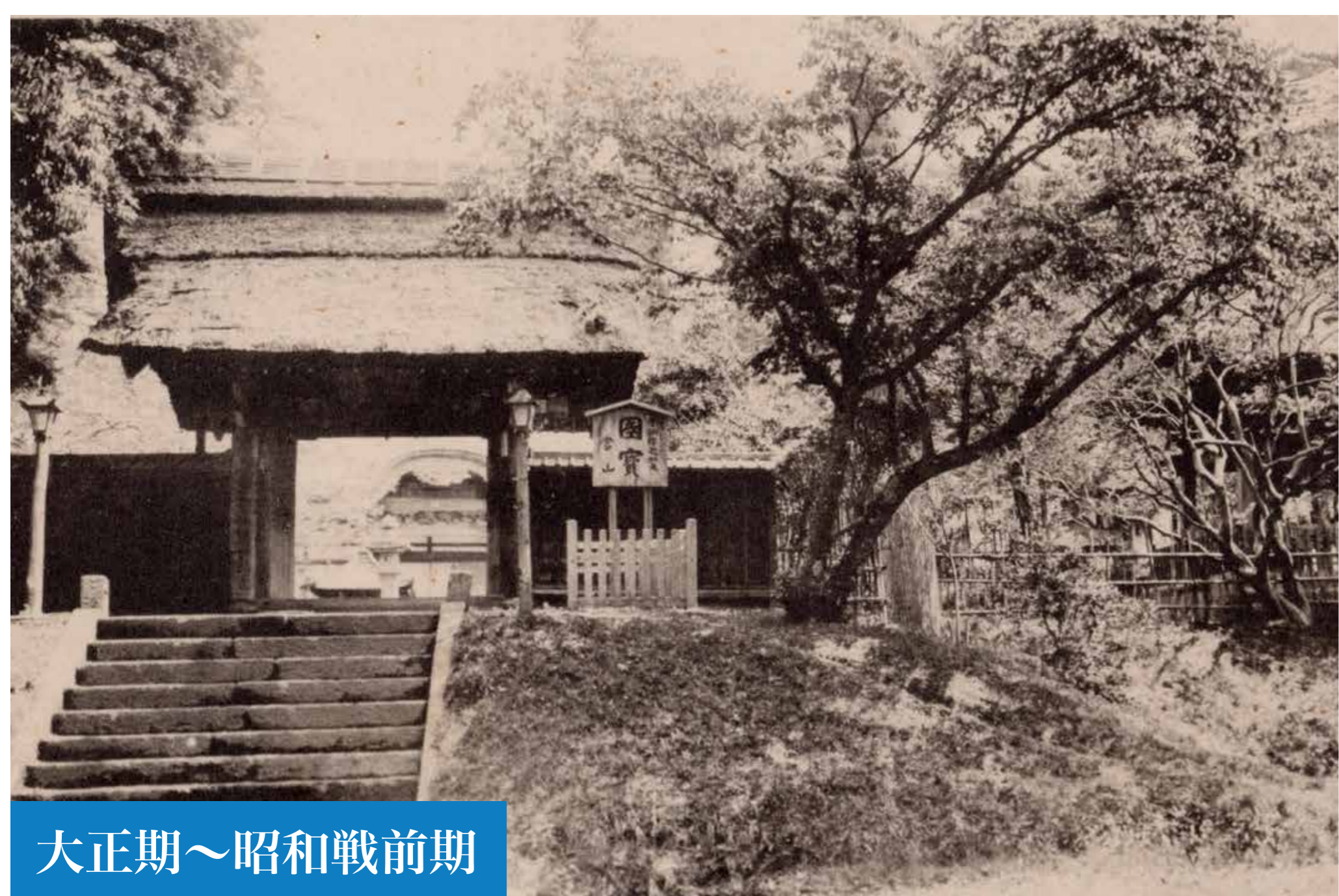


このまちの100年

「調布」

武蔵野台地上に位置する調布。段丘崖(だんきゅうがい)などからは湧水があり、周辺には古くから集落が形成されました。昭和期には、京王閣が開館し、『東京の宝塚』とも称されるほどの人気となりました。映画・教育・音楽などの文化も特徴を持って発展しています。



大正期～昭和戦前期

奈良時代・天平5年開山の深大寺



大正期～昭和戦前期

稲田堤の桜。調布・多摩川原の対岸に約250本の桜が植えられた



大正期～昭和初期

甲州街道沿いには、かつて塚善という料亭があった



大正期～昭和戦前期

京王電車が開通すると、鮎釣りや鮎漁見物を楽しむ人も多く訪れた



昭和戦前期

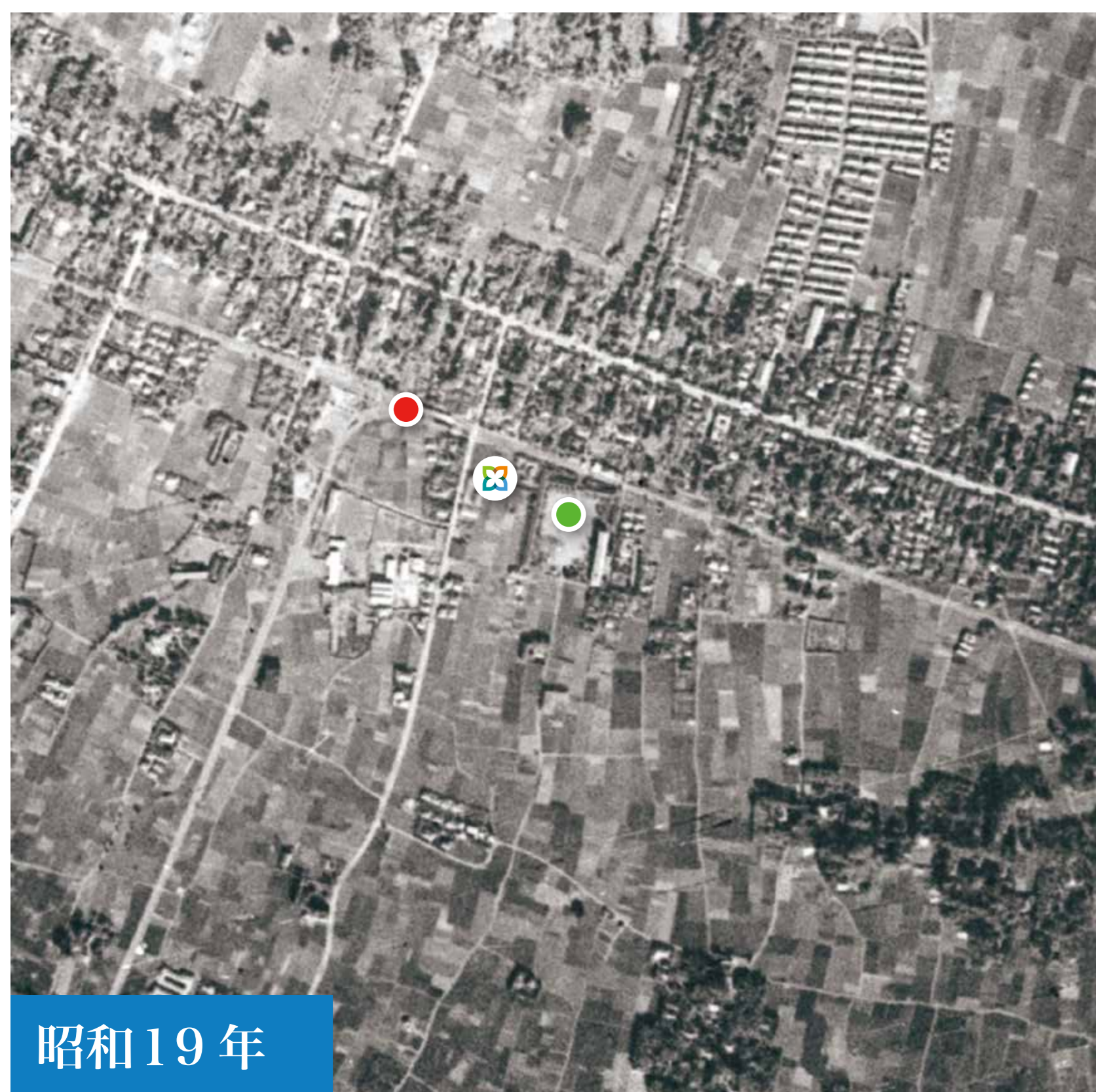
京王閣。灯台のようなオブジェの先端から水が滝のように落ちる噴水のあるプールがあった



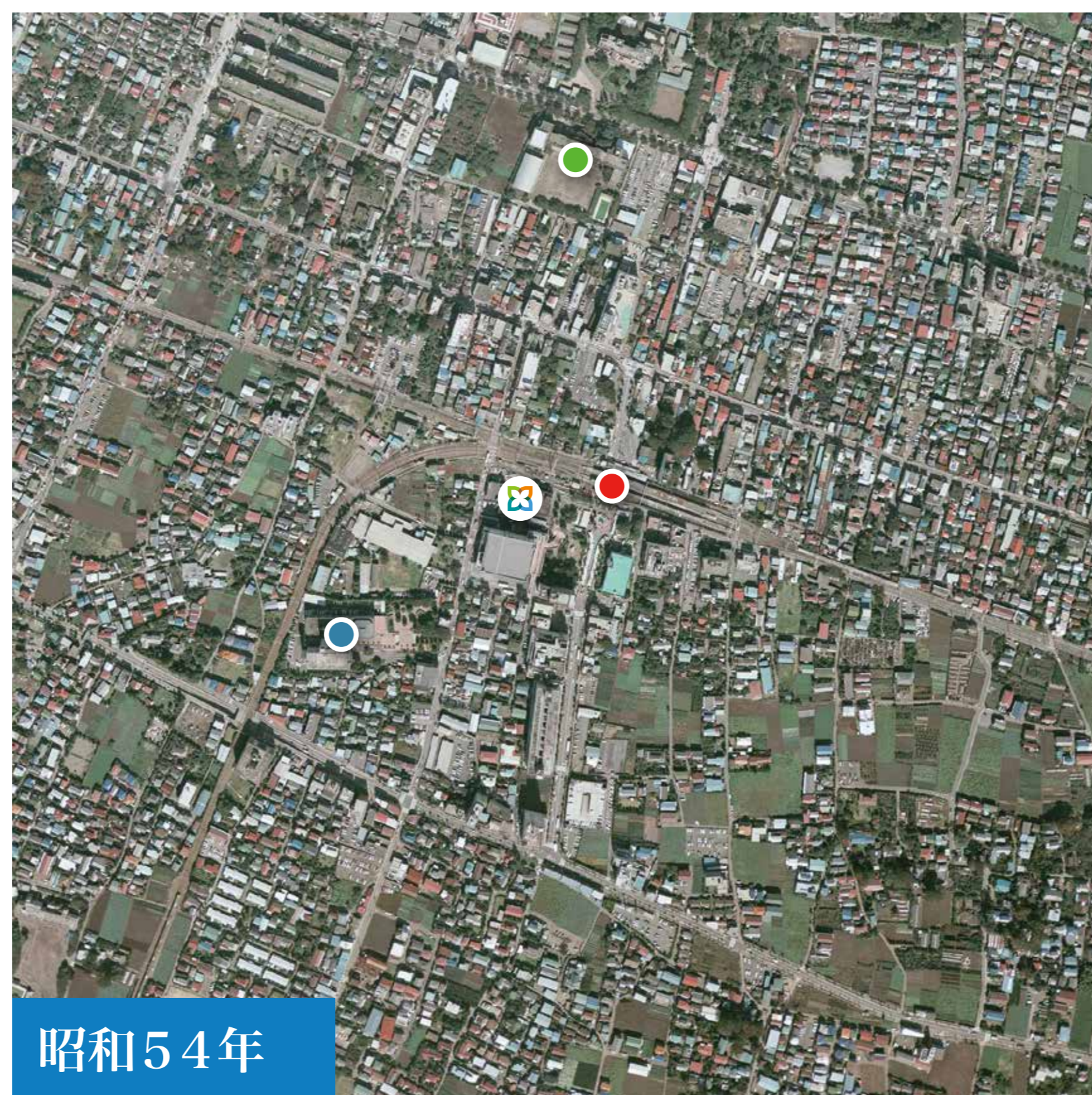
平成23年

地下化工事が進む調布駅周辺。平成24年に地下駅へ切り替えられた

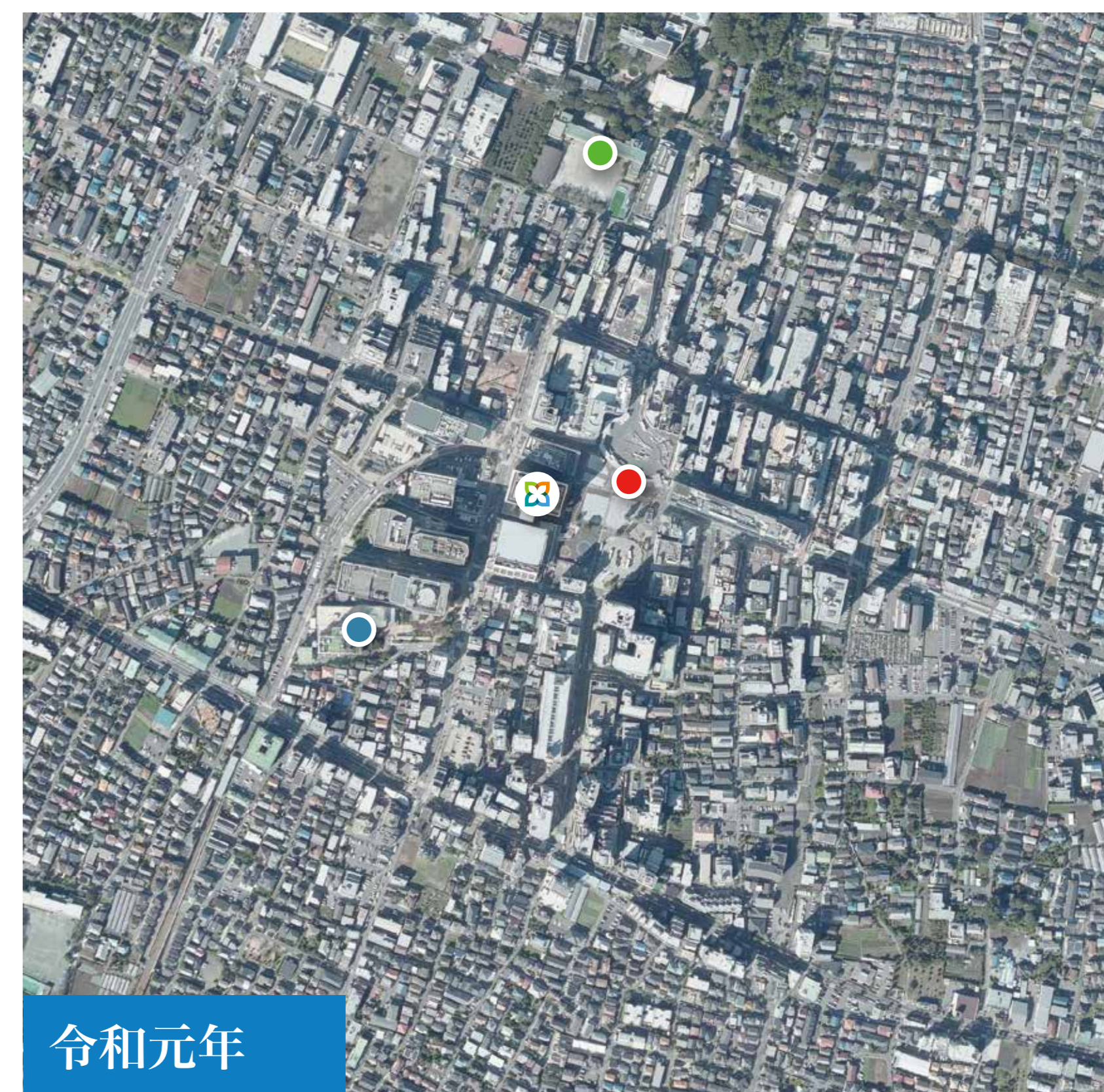
上空からみた調布エリア



昭和19年



昭和54年



令和元年

: 現在地
 : 調布市役所 : 調布尋常高等小学校／調布市立第一小学校 : 調布駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロモチ